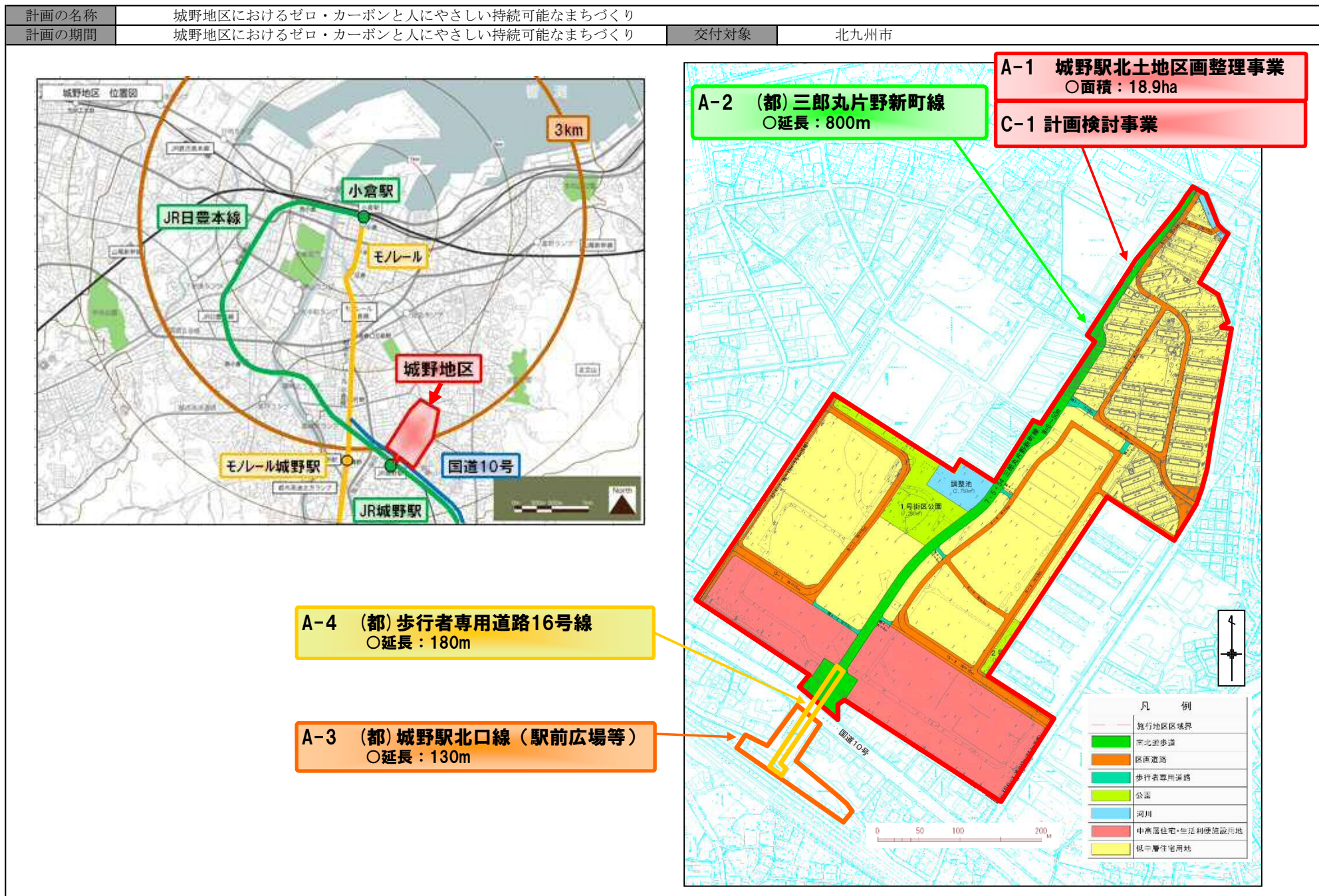


社会資本総合整備計画

平成 26 年3月20日

計画の名称		城野地区におけるゼロ・カーボンと人にやさしい持続可能なまちづくり															
計画の期間		平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)					交付対象		北九州市								
計画の目標		<p>小倉北区城野地区は、小倉都心から南東約3kmと近く、JR城野駅や国道10号が地区に隣接するなど交通利便性の非常に高い地区である。また、本地区は、陸上自衛隊城野分屯地(約14ha)の移転やUR城野団地(約4ha)の団地再生(集約化)など、大規模な土地利用転換が見込まれている。これを機に、本地区では、交通の拠点性を活かし、多くの人々が、安全で快適な生活を送ることのできるまちづくりを進めるものである。さらに、環境モデル都市として、様々な低炭素技術・方策を総合的に導入し、低炭素社会をテーマとした、持続可能なまちづくりを目指すものである。</p>															
計画の成果目標(定量的指標)		<ul style="list-style-type: none"> 城野地区の創エネシステムの総発電性能を600kw以上(H28)とする。 城野地区の新築戸建住宅のうち、長期優良住宅認定を受けているものの割合を60%以上(H28)とする。(全国の割合は20%代で推移) 															
定量的指標の定義及び算定式		<p>計画区域内で導入した創エネシステムについて、発電性能の合計値を算出する。</p> <p>城野駅北土地区画整理事業内で、長期優良住宅に認定された戸建住宅の戸数を確認し、その戸数を新築戸建住宅の全戸数で割る。 (長期優良住宅認定率) = (新築戸建住宅の長期優良住宅認定戸数) / (新築戸建住宅戸数) × 100 (%)</p>								定量的指標の現況値及び目標値		備考					
		当初現況値 (H24当初)		中間目標値 (H26末)		最終目標値 (H28末)				備考							
		0kw				600kw											
		0%				60%											
全体事業費		合計 (A+B+C)	5,846百万円	A	5,771百万円	B	0百万円	C	75百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.3%						
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
A-1	都再区画	一般	北九州市	間接	UR都市機構	-	-	城野駅北土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=18.9ha	北九州市						2,746	
A-2	街路	一般	北九州市	間接	UR都市機構	区画	改築	城野地区((都)三郎丸片野新町線)	都市計画道路 L=800m	北九州市						760	
A-3	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	(都)城野駅北口線	L=130m、W=40m(駅前広場、駐輪場)	北九州市						832	
A-4	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	(都)歩行者専用道路16号線	L=180m、W=6m	北九州市						1,433	
											合計					5,771	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H24	H25	H26	H27	H28		
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
C-1	調査・検討	一般	北九州市	直接	北九州市	-	計画検討事業	低炭素関連設備や助成等の検討	北九州市						75		
											合計					75	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C-1	A-1(城野駅北土地区画整理事業) 効果的・効率的な低炭素関連設備、事業者や住宅購入者への助成の導入方策等を検討することにより、低炭素型まちづくりの形成を図る。																

(参考図面)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 城野地区におけるゼロ・カーボンと人にやさしい持続可能なまちづくり

事業主体名: 北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○